

2015年5月政情（内政・外交）

1 内政

（1）マルティネリ前大統領への調査開始

マルティネリ前大統領に対しては、国家支援プログラム（PAN）を利用した公立校の学生への乾燥食品配布プログラムの実施に際し、不当に高い価格で同食品購入契約を結んだ疑いがかけられているところ、4月30日、最高裁判所は判事全9名の総意に基づき、4日より同前大統領への調査を開始することを決定した。本件調査は、オイデン・オルテガ最高裁判事により2か月間の期間をもって行われる。

（2）ベナビデス最高裁判事への調査開始

ベナビデス最高裁判事に対しては、複数の訴訟において判決の裏取引を行っていた疑いや、未成年者との性交渉を行った疑いで訴えがなされていたところ、7日、国会信任委員会はこれを認め、調査を開始する旨発表した。本件調査は、ホルヘ・アルベルト・ロサス議員により2か月間の期間をもって行われる。

（3）デ・リマ前経済財務大臣への予防拘禁

11日、国家支援プログラム（PAN）を利用した食糧品配布プログラム（米・豆類）における不正に関与した疑いで、デ・リマ前経済財務大臣に対して予防拘禁が課された。同前大臣に対しては、マルティネリ大統領（当時）の命令を受け、同プログラム実施のための予算を不当な金額で申請した疑いがかけられている。

（4）バレーラ大統領の支持率低下

19日にDichter & Neira社の発表した支持率調査結果によれば、本年5月時点でのバレーラ大統領への支持率は67%であり、政権発足以降過去最低の数字を記録した。

（5）エンリケス前大統領府大臣への出国禁止

22日、国家支援プログラム（PAN）を利用した食糧品配布プログラム（米・豆類）における不正に関与した疑いで、ロベルト・エンリケス前大統領府大臣に対して出国禁止が課された。同前大臣は国家支援プログラム理事会メンバーであったところ、不当に高い値段での食糧品購入契約を承認した疑いがかけられている。

2 外交

（1）インカピエ外務次官の第8回 CELAC 外相会合出席

5日、「イ」外務次官は第8回 CELAC 外相会合に出席し、2015年下半期に予定されている「第3回汚職防止及び撲滅のための閣僚級会合」をパナマで開催することを提案した。

（2）サイン・マロ副大統領兼外務大臣の世界経済フォーラム・ラテンアメリカ会議参加

7日、コロンビアのオルギン外務大臣及びカルデナス財務公債大臣との間で会合を行い、二重課税防止協定の締結等、両国の関心事項につき話し合いを行った。

イ 7日、パネルディスカッション「貧困から繁栄へ」に参加し、政府、民間企業及び市

民社会による協力体制の重要性につき強調した。

(3) バレーラ大統領の世界経済フォーラム参加

ア 7日、パネルディスカッション「新たなアジェンダを通じた発展」に参加し、各国政府による公共投資の重要性につき強調した。

イ 8日、ライブラ・グループ、グリーングッド・エナジー、フィリップス・ラテンアメリカ、華為技術及び FEMSA コカ・コーラの代表との間で会合を行い、パナマにおける経済成長や各企業の業務展開につき話し合いを行った。

(4) サイン・マロ副大統領兼外務大臣とグリンスパン・イベロアメリカ事務局長の会談

14日、当国を訪問したグリンスパン・イベロアメリカ事務局長との間で会談を行い、南々協力をはじめとする様々な国際協力プログラムにおけるパナマの取り組みにつき話し合いを行った。

(5) インカピエ外務次官のウルグアイ訪問

27～28日、ウルグアイを訪問し、カンセラ同国外務次官との間で第4回政策協議を行った。今次政策協議においては、地域的・国際的関心事項にかかる見直しが行われ、国際機関等の選挙における両国の相互支持にかかる合意がなされたほか、文化・科学技術等の分野における二国間協力につき話し合いが行われた。